

平成30年度第1回中央区清掃・リサイクル推進協議会 議事録

開催日時 場所	平成30年11月6日(火) 午後1時30分 中央区役所別館6階 A会議室	
出席者の氏名	委員	(出席委員) 永田委員、朝倉委員、中野委員、宮森委員、守本委員、川名委員、立岩委員、小林委員、境委員、佐々木委員 (区側委員) 望月委員(環境土木部長)、浅沼委員(企画部長) (欠席委員) 川端委員、矢吹委員
	事務局	(環境政策課) 三留課長 (環境推進課) 石田課長、長森係長 (中央清掃事務所) 石井所長、相崎係長、有原係長、藤原係長、倉持主事、榎戸主事
配布資料	(配布資料) 資料1 平成29年度ごみ量及び資源回収量について 資料2 中央区一般廃棄物処理基本計画2016の進捗状況について (参考資料) ・平成30年度中央区清掃・リサイクル推進協議会委員名簿 ・中央区清掃・リサイクル推進協議会設置要綱 ・資源回収処理の流れ(内部資料) ・中央区一般廃棄物処理基本計画2016[概要版](平成28年3月発行) ・「ごみ」と「資源」の分け方・出し方(平成30年2月発行) ・清掃・リサイクルハンドブック(平成29年3月発行)	
議事の概要	1 開 会 2 事務局紹介 3 議 題 (1) ごみ排出実態調査報告書について (2) 一般廃棄物処理基本計画の改定について (3) その他報告事項 4 閉 会	
議事の経過	別紙のとおり	

## 協議の経過

### 1 開会

事務局（藤原中央清掃事務所 清掃事業係長）より、開会の挨拶を行った。

- ・新規委員の紹介 京橋地域町会連合会会長 川端 武二 氏 【欠席】  
日本橋地域町会連合会会長 中野 耕佑 氏  
中央区企画部長 浅沼 孝一郎 氏
- ・事務局紹介
- ・資料の確認

### 2 座長挨拶

### 3 議題

#### (1) 平成29年度ごみ量及び資源回収量等について

##### ○委員

ごみ量全体が減っているという話の中で、啓発の成果があったと判断した理由を教えてください。啓発の成果について、内訳を教えてください。

##### ●区

例えば、集団回収については、住民の方の意識の向上や区の広報等により、登録団体が増加しており、啓発の効果であるという判断をした。

##### ○委員

具体的な形で証明して欲しい。

ごみ排出実態調査を来年度実施予定なので、先の疑問も含めて、リサイクルに関する住民意識の向上が判断できるようなアンケート調査を行って欲しい。

##### ○委員

今年度ペットボトルの残渣が20%というのはかなり多いのではないかと。家庭から排出されるものに関しては、かなりきれいな状態に出ているのではないかと。思う。

##### ○委員

実態調査は行ったのか。一昨年よりさらに悪化している。

##### ●区

先日、中間処理業者に聞き取り調査を行った。今後、現地調査を実施する。

##### ○委員

残渣はどのように処分されているのか。

##### ●区

産業廃棄物として焼却処分を行っている。

##### ○委員

ペットボトルは、ある程度汚れを落とせば、資源として有効に活用できる。区民が資源

として出したものが、きちんと処理されているのか、しっかり調査して欲しい。

○委員

古紙回収量の減少は、新聞購読量の減少が理由ではないかということだが、古紙持ち去りとの関係はないのか。

●区

本年度から巡回パトロールの強化や車両をパトカーの形に変えたりした結果、持ち去りは減少していると認識している。

○委員

区内の新聞購読者数が減少しているのなら新聞発行部数も減少しているのかなど、資源回収量増減の要因分析をきちんとやってもらいたい。

○委員

「2 中央区資源回収量」行政による回収の回収品目で不燃ごみのピックアップ回収が棒線になっている。理由は。

●区

「4 23区資源回収量」行政による回収の回収品目で不燃ごみのピックアップ回収量が記載されている。23区では不燃ごみのピックアップ回収を行っているところもあり、その対比として項目を残してある。

○委員

その旨、注意書きを入れて欲しい。

○委員

区では、プラスチック類の処理について、全て国内で処分しているのか。

●区

区では、最終処理業者（日本容器リサイクル包装協会）に委託し、国内でのリサイクル処理を行っている。

○委員

4ページ以降の「資源回収量品目別合計量」で回収量がトンで表記されている。増減の比較が難しいので、キログラムで表記して比較ができるように改めるようにして欲しい。

●区

了解した。

○委員

資源回収処理の流れ（内部資料）についての資料の中で資源の売却金額が分かるようにして欲しい。

区民の方が資源物をきちんと洗ったりして出してもらっているものが、資源の価値とし

てどう評価されているのか、回収量も大事だが、どの程度の売却益があったのかというのは、一番分かりやすい指標と言える。また、その増減も分かるような形で表記を改めて欲しい。

○委員

小型家電回収については、粗大ごみからのピックアップ回収により、ごみとして処理する負担を軽減でき、金属資源が回収できる。拠点回収は、区民の方の協力で収集しており、金属回収効率は良いと考えられる。

小型家電の回収量があまり伸びていないので、区民が出した小型家電からどの程度の貴金属が精錬されたのか分かりやすく表記して欲しい。

(2) 中央区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

○委員

上記計画の目標のうち、家庭系のごみに関しては、1人1日当たりの排出量は順調に減少している。事業系については、大規模事業所従業員1人当たりの可燃ごみ量と事業系ごみの総量は示されているが、事業系建築物の再利用率が記載されていない。

●区

まだ、平成28年度の数字しか把握していないので、記載していない。

○委員

平成29年度の数字が間に合わないとしても、計画目標の項目であるからには、進捗状況に含める必要がある。間に合わない理由も含めて資料の訂正版を出して欲しい。

次に「5 事業用大規模事業所従業員1人当たりの可燃ごみの量」については、計画最終年度(平成37年度)の目標値をも達成するほどに減少しているのに対し、「6 基本計画におけるごみ量」で事業系のごみ量は逆に増加しており違和感がある。大規模事業所のごみ減量意識は高いが、それ以外の事業者の対応が十分ではないとか1人当りのごみ量とごみ総量が相反した理由が解析できる資料を提示できないか。

また、事業系に対するごみ減量対策の中で、事業所への立入件数だけ書かれている。件数も重要だが、その中でどのような問題があったか件数なり割合なり分かるような形で集計して欲しい。

大規模事業所の従業員数も再利用計画書に基づき集計しているならその旨を表示して欲しい。

●区

了解した。

○委員

目標数値の進捗状況については報告されているが、処理計画で策定された目標実現に向けた取り組みについてもその内容・効果などが記載されていない。現状の数値と施策の効果との関連が経年的に分かるかもしれず、定点観測の資料として有効であり、処理計画見直しの際にも役立つと思われるので、次年度からで構わないので記載して欲しい。

●区

了解した。

○委員

町会行事でお祭りやイベント時、ごみの収集を区にお願いをしており、その際、基本的に分別は行っているが、大量のごみが排出される中で、細かく分別するのは困難である。ペットボトルについてもキャップやラベルは取りきれないし、飲み残しや食品が付着して汚れてしまったものも混じっている。

●区

中間処理の際、キャップ・ラベルははがしているが、洗浄までは行っていない。飲み残しや汚れているものは、可燃ごみとして出していただきたい。

○委員

「7 事業所に対するごみ減量対策」について、事業所の立入検査件数の区内の全事業所に対する実施割合はどの程度か。

●区

大規模事業所については、概ね3年に1回立入検査を実施しているので、年間で3分の1程度の事業所を対象にしている。再利用計画書で事業所数を把握しており、平成28年度で974件の提出があった。

小規模事業所については、800程度あり、5年に1回の実施を目指しているが、平成29年度については、1割程度しか実施できなかった。

○委員

そこが分かるような形で表記して欲しい。

また、立入検査実施の有無でごみの分別、排出量等に差異はあるのか。

3年に一度であれば、前回との比較は行っているのか。

●区

検査時に前回の資料も持参し、改善されているかどうか確認している。

○委員

そこが分かるよう集計の仕方を改善して欲しい。

### (3) その他

○委員

平成28年に本計画を策定したので、平成32年度に見直しを行うことになる。来年度はその前年度に当るので、ごみ排出実態調査を実施することになる。

実態調査の項目としては、区民および事業者に対するアンケートもあると思うが、アンケート内容などについて各委員の要望を反映させて欲しい。

今年度中、1月くらいには委員への要望書を送付して欲しい。

●区

調査項目を大幅に増やすとかは困難であるが、予算の範囲内で、反映できるよう調整する。

○委員

区のホームページで本協議会の資料が平成28年度実施分しか掲載されていない。平成29年度実施分についても整理していったらいいのではないか。

●区

対応する。

#### 4 閉会

午後3時1分閉会